

11/4

11月は教育月間「ぎのわん教育の日」表彰式



中央公民館において「ぎのわん教育の日」表彰式が開催され、教育の振興発展に貢献し、他の模範として推奨に値する業績もしくは善行があったと認められる方々へ功労賞、活躍賞が贈られました。また、令和元年度より開催を見合わせていた宜野湾市育英会高額寄附者への感謝状贈呈式もあわせて執り行われました。

功労賞部門 13件 (12名 1団体)
多和田健、仲尾義孝、桃原智枝、沖山サト、仲村美智子、田吹子市、金城信枝、山川米子、新垣研、稲嶺香、新城区婦人会、宮城敏也、仲里一春
活躍賞部門 12件 (9名 3団体)
東恩納昊貴、國吉なぎ、普天間中学校空手道部、中村圭吾、小橋川照真、桃原美玲佐、伊波未来哉、宮里阿連、嘉数中学校将棋クラブ、加藤せら、大城心陽、長田小学校将棋部
宜野湾市育英会高額寄附者 14件 (12名 2団体)
宮城大弥 (代理出席)、宜野湾市管工事共同組合 ※式典出席者

11/4

将来の夢や目標に向かって 普天間中学校 創立75周年記念セレモニー



普天間中学校にて創立75周年記念セレモニーが行われ、県出身の2人組ボーカルグループ5th Elementsのライブコンサートが披露されました。5th ElementsのA-RAさんは「自分がやりたい事をみつけて、それに向かって頑張れば必ず願いは叶うと僕たちは思っています。将来の夢や目標に向かって頑張ってください」と生徒へメッセージを送りました。

11/7

災害時の市民の迅速な避難のために 基地内への通行および立ち入りに関する協定



米海兵隊太平洋基地司令官と、基地が所在する市町村にて、「災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立ち入りについての現地協定書署名式」がキャンプフォスター内にて行われました。これまで、高台への避難路として国道からのルートが2つしかありませんでした。本協定により、避難訓練の実施の際、基地内通行のほか、自然災害時の基地内通行が可能になります。

11/7

市民にいち早く災害情報を届けるために 沖縄ケーブルネットワーク株式会社との協定



災害時および災害が発生するおそれがある場合において、関係機関および市民等に対し、災害に関する情報の伝達を行うことを目的とした、沖縄ケーブルネットワーク株式会社との協定締結が市役所にて行われました。風間正二郎社長は「市民にいち早く災害情報を届けることで、宜野湾市の安心安全なまちづくりに貢献できればと思います」とあいさつしました。

11/8

よりよい素敵なまちデザイン 学生がデザインするまちづくりを報告



市と琉球大学が連携し、地域課題の解決を目指す授業「学生がデザインするまちづくり」の受講生が市役所を訪れ、最終発表会の報告を行いました。受講した生徒の皆さんは「このプログラムを通して、市の資源や課題、それぞれの良さを知ることができました」「この授業を受けることで、自分が知らなかった宜野湾市を知れたことが印象的でした」と熱く語りました。

10/24

市議会の同意を得て選任されます。 監査委員辞令交付式



地方自治体行政における公正と効率の確保を目的とし、市議会議員から選出される監査委員に、宜野湾市議会議員3期目となる山城康弘議員が選任されました。山城康弘監査委員は「まだまだ勉強不足ではありますが、宜野湾市の発展には何が必要か考えながら、しっかりと職責を全うしていきたいと思っております」とあいさつしました。

10/29,30

じのーん地域伝統芸能まつり 全日本健康マージャン交流大会 開催



「美ら島おきなわ文化祭2022」の開催に伴い、10月29、30日に市立体育館で「全日本健康マージャン交流大会」、30日に多目的運動場で「じのーん地域伝統芸能まつり」が開催されました。健康マージャンには、県内外から320名が参加し、6名の招待プロが大会を盛り上げました。芸能まつりでは、市指定無形民俗文化財である我如古スンサーミーや大謝名獅子舞など、地域に伝わる伝統芸能が披露されました。

11/1

市民のために2期目も邁進 第7代副市長辞令交付式



市役所において辞令交付式が行われ、和田敬悟前副市長が第7代宜野湾市副市長に再任されました。和田副市長は、昭和54年に入庁。企画部長等を経て平成27年に定年退職後、水道局長、上下水道局長を歴任され平成30年11月から副市長を務めています。和田副市長は「2期目の辞令に身の引き締まる思いです。松川市長を支え、市長が掲げた公約のひとつひとつを実にしていけるよう邁進してまいります」と挨拶しました。

10/26

独創的で豊かな表現と英語力を披露 宜野湾市中学生英語ストーリーコンテスト



実践的コミュニケーション能力を育成することを目的とした宜野湾市中学生英語ストーリーコンテストが、中央公民館にて開催され、市内在住の中学生から22人の参加者が日ごろ学んだ英語力を活かしたスピーチを披露しました。審査委員長を務めた琉球大学の深澤真准教授は「今回の経験は、みなさんの大きな財産になるとともに、英語力向上に大きく貢献すると思います。」と講評しました。

11/1

沖縄健康医療推進基金へ積み立てられます 寄附型自動販売機設置



本庁正面入口および来客駐車場スロープ前に、沖縄健康医療拠点整備に係る寄附型自動販売機を設置しています。飲み物を購入した際に、1本あたり十数円が沖縄健康医療推進基金に積み立てられ、西普天間住宅地区跡地に移転する琉球大学医学部および大学病院の学習環境の整備やキャンパス内広場、道路の環境緑化等に使用されます。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

11/2

第7回世界のウチナンチュ大会 世界のジノンチュ歓迎の夕べを開催



本市に縁のあるジノンチュ(宜野湾の人)等をお招きし「世界のジノンチュ歓迎の夕べ」が開催されました。琉球舞踊などの伝統文化、県系3世の民謡、ラテンダンスなどが披露されたほか、5年後の再会を願う古酒造りも行われるなど、終始和やかな雰囲気になりました。参加者からは「祖先の遺産に誇りを持ち、自分のアイデンティティを確認し続けてほしい」といったお言葉もいただきました。